

<結婚準備：男と女、どちらがたいへん？>

男女が結婚して新しい家庭を作る時には、いろいろな物を買わなければなりません。日本ではむかし、女の人が家具や寝具を用意しました。家具というのは、洋だんす、和だんすなどです。食器などの台所用品やいろいろな家庭用品も女の人が買いました。新しい洋服や和服も作らなければなりません。ですから、「むすめが三人いると、家がつぶれる」と言いました。

一方、男の人は、婚約する時に月給の2か月分ぐらいのお金を女の人の人に渡しました。これを「結納けいご」と言います。男の人は、二人が住む家も見つけなければなりませんでした。その家のお金は、男の人が払いました。

今では結婚の準備も変わかってきています。

男と女、あなたの国では、どうですか。

*家庭 home

つぶれる to go bankrupt

2か月分 two months' worth

むかし the old days

一方 on the other hand

変わる to change

むすめ daughter

月給 (monthly) salary

[質問]

1. 男女が結婚する時、日本ではむかし、女の人は何をしなければなりませんでしたか。
2. 男の人は、何をしなければなりませんでしたか。
3. どうして「むすめが三人いると、家がつぶれる」と言ったのですか。
4. 7行目の「これ」というのは、何ですか。
5. 上の文を読んで、男と女、どちらがたいへんだったと思いますか。

書いてみよう

あなたの国では、結婚するとき、男の人と女の人が何を準備するか書いてみましょう。